

ぎかいにとどけ！ わたしたちのこえ

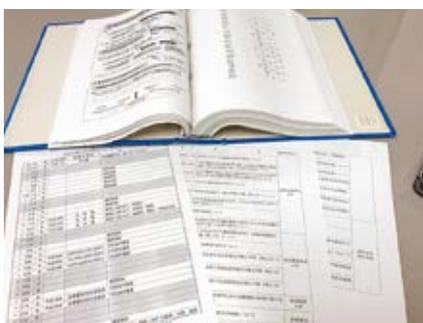
8月26日(金)、夏休みを活用して、市議会議員と意見交換をするため、足利短期大学附属高等学校の皆さんが議会に来てくれました。

当日は、9月定例会の一日目。『初日』といわれ、約1カ月間にわたる市議会の中で議案審議のスケジュール等を決める重要な一日でした。

市当局からどのような議案が提案され、どれくらいの期間をかけて、どのように議論されるのか学んでもらうことができました。



この9月定例会は、市の決算が議論されることから、会議で使う資料も膨大な量となります。さらには、常任委員会や特別委員会など様々な委員会で役割分担して議論が行われていることなど、市議会の役割について細かなところまで見てもらうことができました。



傍聴者はタブレットではなく、紙の資料を閲覧します。両面印刷でもこの量です。

すごいスピードで会議が進んだけど議員さんはどんなところに注目してるのかな？



堀江さん(2年)

分厚い紙の資料ではなくて、タブレット端末を使ってるペーパーレス化してるんだな～



橋場さん(2年)

足利短期大学附属高等学校の皆さん

人から聞いた話、テレビのイメージではなくて、自分の目で見て、耳で聞いて、直接議会の雰囲気を感じてみたい!! 皆さんからのそんな提案を受けて、今回、高校生と市議会議員の意見交換会が実現しました。



岡崎さん(2年)



川村さん(2年)



刑部さん(2年)

市議会議員の他にも何か仕事をしていますか？

今までどんな仕事をしてたんですか？
どうして議員になろうと思ったのですか？

意見交換会を終えて…



初めはとても緊張していた皆さんですが、市議会議員と交流する中で、徐々に表情もほぐれてきました。せっかくの機会なので、最後に本会議場で記念撮影。是非、これからも足利市議会、そして足利市のまちづくりに関心を持ち続けてください。これからも私たちは、夢を持つ皆さんを応援しています！

編集後記

今回の紙面は足利市議会の決算審査特別委員会や普段の議員活動などについて皆さんに知っていただくことと内容を工夫しました。近年、全国の市議会では選挙の低投票率や議員のなり手不足などが大きな課題となっています。

そこで足利市議会では多くの市民の皆さんに、市議会、そして政治や選挙に関心を寄せていただくために魅力的な紙面づくりに取り組んでいます。皆さんからはぜひ読んだ感想をいただきたいと思っています。(広報広聴常任委員会広報部会 平塚 茂)